

2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年5月13日

上場会社名 株式会社ムロコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 7264 URL <https://www.muro.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 室 雅文
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 山口 誉 (TEL) 028-667-7122
 定時株主総会開催予定日 2022年6月23日 配当支払開始予定日 2022年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績 (2021年4月1日~2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|--------|-------|-------|-------|-------|------|-----------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期 | 20,533 | 8.3 | 1,259 | 26.3 | 1,963 | 23.5 | 1,347 | 38.3 |
| 2021年3月期 | 18,965 | △11.4 | 997 | △20.6 | 1,589 | 13.9 | 974 | 15.1 |

(注) 包括利益 2022年3月期 1,741百万円 (32.3%) 2021年3月期 1,316百万円 (106.8%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 自己資本当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-------------------|------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2022年3月期 | 223.07 | — | 7.3 | 7.3 | 6.1 |
| 2021年3月期 | 161.31 | — | 5.6 | 6.3 | 5.3 |

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 一百万円 2021年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年3月期 | 27,359 | 19,313 | 70.6 | 3,196.50 |
| 2021年3月期 | 26,753 | 17,795 | 66.5 | 2,945.29 |

(参考) 自己資本 2022年3月期 19,313百万円 2021年3月期 17,795百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2022年3月期 | 1,737 | △1,336 | △1,545 | 6,238 |
| 2021年3月期 | 2,780 | △1,744 | 1,289 | 7,038 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額(合計) | 配当性向(連結) | 純資産配当率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|-----------|----------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2021年3月期 | — | 22.00 | — | 22.00 | 44.00 | 265 | 27.3 | 1.5 |
| 2022年3月期 | — | 22.00 | — | 22.00 | 44.00 | 265 | 19.7 | 1.4 |
| 2023年3月期(予想) | — | 22.00 | — | 22.00 | 44.00 | | 27.0 | |

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 10,957 | 6.8 | 568 | △41.5 | 614 | △42.7 | 335 | △55.5 | 55.60 |
| 通 期 | 22,943 | 11.7 | 1,590 | 26.2 | 1,642 | △16.4 | 985 | △26.9 | 163.09 |

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)—、除外 —社(社名)—
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2022年3月期 | 6,546,200株 | 2021年3月期 | 6,546,200株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期 | 504,062株 | 2021年3月期 | 504,062株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2022年3月期 | 6,042,138株 | 2021年3月期 | 6,042,155株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績(2021年4月1日~2022年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|----------------|------|-----------------------|------|-------|------|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期 | 16,332 | 5.6 | 1,389 | 34.5 | 2,083 | 32.3 | 1,477 | 47.9 |
| 2021年3月期 | 15,461 | △7.3 | 1,032 | 11.2 | 1,575 | 32.8 | 998 | 21.3 |
| | 1株当たり 当期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 2022年3月期 | 244.54 | | — | | | | | |
| 2021年3月期 | 165.33 | | — | | | | | |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年3月期 | 24,647 | 18,078 | 73.3 | 2,992.09 |
| 2021年3月期 | 24,559 | 16,803 | 68.4 | 2,781.09 |

(参考) 自己資本 2022年3月期 18,078百万円 2021年3月期 16,803百万円

2. 2023年3月期の個別業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 8,289 | 1.0 | 743 | △28.6 | 503 | △29.0 | 83.30 |
| 通期 | 17,212 | 5.4 | 1,776 | △14.7 | 1,205 | △18.4 | 199.46 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 4 |
| 2. 企業集団の状況 | 5 |
| 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 6 |
| 4. 連結財務諸表及び主な注記 | 7 |
| (1) 連結貸借対照表 | 7 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 11 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 13 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 15 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 15 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 15 |
| (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) | 15 |
| (会計方針の変更) | 15 |
| (企業結合等関係) | 16 |
| (セグメント情報等) | 17 |
| (収益認識関係) | 23 |
| (1株当たり情報) | 23 |
| (重要な後発事象) | 23 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当連結会計年度における世界経済は、引き続き新型コロナウイルスの影響を受けながらもワクチン接種に伴う感染者数減少を受けて経済を回す動きが取られ、全体的には回復基調で推移しました。しかしながら、経済回復に伴う急激な需要拡大と、様々な要因に起因する供給制約に伴う需給逼迫によるサプライチェーンの混乱により、物価は高騰しました。さらに今年に入ってから、ロシアによるウクライナ侵攻や中国のゼロコロナ政策堅持による上海のロックダウン等がサプライチェーンの混乱と物価高騰に拍車をかけ、元々先行き不透明だった近年の状況に輪をかけて先行きが全く見通せない状態となっております。

一方国内におきましては、新型コロナウイルスの影響を受けながらもオリンピックを開催し、感染増減の波に翻弄されながらも経済を回して全体的には回復基調で推移しましたが、他地域同様にサプライチェーンの混乱と資源物価の高騰に見舞われました。加えて、直近では20年以上振りの円安により、さらに輸入品物価が上昇する厳しい環境となっております。

当社グループの主要事業領域であります自動車産業界は、年度初めの第1四半期においては前年の半導体不足からの挽回生産を行い堅調に推移しましたが、第2四半期後半からは東南アジアでの感染拡大に伴い再びサプライチェーンが混乱し、第3四半期には再び大幅な減産となりました。第4四半期にはサプライチェーンの混乱も幾分改善されましたが、引き続き先の見通しが立たない不安定な生産状況となりました。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は、前年度に対して回復はしたものの下半期の落ち込みが響き、20,533百万円（前連結会計年度比8.3%増）となりました。営業利益につきましては、原材料を含む物価の値上りと下半期の生産減に伴う経費増がありましたが、前年度ほどの稼働調整が無くなり、1,259百万円（前連結会計年度比26.3%増）となりました。経常利益につきましては、前年度計上のありました雇用調整助成金が無くなりましたが、為替が大きく円安に振れたことによる為替差益404百万円が発生し、1,963百万円（前連結会計年度比23.5%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前年度計上のありました過年度分利益課税が無くなり、1,347百万円（前連結会計年度比38.3%増）となりました。

当連結会計年度におけるセグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 金属関連部品事業

当連結会計年度の当事業の売上高は、17,938百万円（前年同期比7.4%増）となりました。上半期は好調に推移しましたが、第3四半期以降はサプライチェーンの混乱により客先の稼働が低迷し、挽回のアナウンスをしては挽回できずに減産となる状態の繰り返しに陥り、売上は低迷しました。

② 樹脂関連部品事業

当連結会計年度の当事業の売上高は、1,688百万円（前年同期比16.9%増）となりました。金属関連部品事業同様上半期は好調に推移しましたが、第3四半期以降は失速しました。

③ その他

当連結会計年度の当事業の売上高は、905百万円（前年同期比10.5%増）となりました。海外は経済回復傾向により、カナダと欧州、豪州で増加しました。国内についても緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の影響で経済活動に制限はありましたが、回復基調で推移したため増加しました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

総資産は、前連結会計年度末に比べ605百万円増加し、27,359百万円となりました。主な増加は受取手形及び売掛金232百万円、商品及び製品260百万円、有形固定資産837百万円であり、主な減少は現金及び預金1,231百万円、投資その他の資産のその他69百万円であります。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ911百万円減少し、8,045百万円となりました。主な増加は支払手形及び買掛金287百万円、長期借入金313百万円であり、主な減少は短期借入金1,490百万円、未払金211百万円であります。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,517百万円増加し、19,313百万円となりました。主な増加は為替換算調整勘定407百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,347百万円であり、主な減少は剰余金の配当金265百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は70.6%（前連結会計年度は66.5%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、税金等調整前当期純利益、減価償却費、仕入債務の増加額、定期預金の払戻による収入、有価証券の償還による収入や長期借入れによる収入があったものの、為替差損益、売上債権の増加、たな卸資産の増加、法人税等の支払額、有形固定資産の取得による支出、有価証券の取得による支出や短期借入金の純減額などがあり、当連結会計年度末には6,238百万円（前連結会計年度末比11.4%減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は1,737百万円（前年同期比37.5%減）となりました。これは税金等調整前当期純利益2,002百万円、減価償却費1,334百万円、仕入債務の増加336百万円などの資金の流入があったものの、法人税等の支払額556百万円、たな卸資産の増加369百万円、為替差損益333百万円、売上債権の増加313百万円などの資金の流出があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1,336百万円（前年同期比23.4%増）となりました。これは有形固定資産の取得による支出1,806百万円、有価証券の取得による支出327百万円などの資金の流出があったものの、定期預金の払戻による収入27百万円、有価証券の償還による収入335百万円などの資金の流入があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1,545百万円（前年同期は1,289百万円の取得）となりました。これは、長期借入れによる収入471百万円などの資金の流入があったものの、短期借入金の純減額1,490百万円などの資金の流出があったことによります。

(4) 今後の見通し

(次期の見通し)

新型コロナウイルスに加え、中国のゼロコロナ政策に伴う主要都市のロックダウンやロシアのウクライナ侵攻に伴うサプライチェーンの混乱と資源価格の高騰、さらに過度な円安も追い打ちを掛け、まさに異次元の先行き不透明感となっております。なおかつ、半導体供給能力不足等のボトルネックは依然として解消されておらず、今後を見通すことは非常に難しい状況ではありますが、現時点での事業環境に大きな変動が無いことを前提とした業績予想としましては、売上高は22,943百万円、経常利益は1,642百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は985百万円を見込んでおります。なお、為替レートは、1 USドル125円を想定しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分につきましては、長期安定的配当の維持を基本方針とし、業績や経営環境等を総合的に勘案しながら株主の皆様のご期待にお応えしてまいりたいと考えております。

以上のような方針に基づき、今期の期末配当金につきましては、1株につき普通配当として22円を配当し、既实施了した中間配当22円と合わせて年間で44円の配当といたします。

次期配当金につきましては、中間配当として1株につき22円、期末配当として1株につき22円の合計44円の普通配当を予定しております。

2. 企業集団の状況

当社グループ(当社及び当社の関係会社)は当社、子会社10社により構成されており、金属関連部品、樹脂関連部品、その他の各事業で製品の製造・販売を主たる業務としております。

当社グループのセグメントの概要は下記のとおりです。

1. 金属関連部品事業

部品加工……………主要な製品は自動車用電動化部品、パワートレイン部品、操舵・制御部品、車体・空調部品、二輪・農業機械・産業機械・精密機器関連部品であります。これら製品は当社及び海外子会社ムロテック オハイオ コーポレーション、海外子会社ムロ テック ベトナム コーポレーション、海外子会社ピーティー ムロテック インドネシア、海外子会社睦諾自動車部件(湖北)有限公司が製造・販売、国内子会社北関東プレーティング株式会社がメッキ加工等の製造、海外子会社3MT(THAILAND)CO.,LTD.が販売をしております。

業務請負……………国内子会社エム・シー・アイ株式会社が、当社の製造工程の一部と製造間接部門の一部の業務を請け負っております。

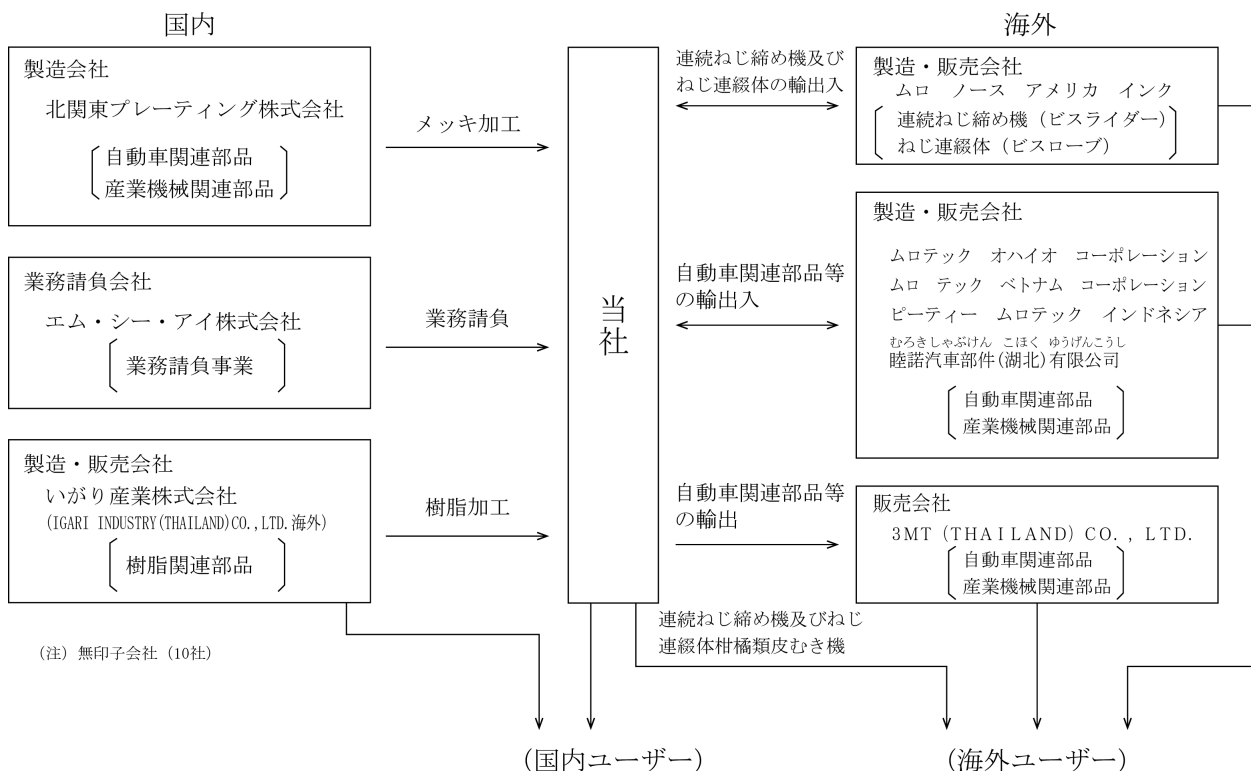
2. 樹脂関連部品事業

部品加工……………主要な製品は自動車及びカメラ向け樹脂成形部品、医療機器関連成形部品、OA機器向けギア部品、ビニール製品の加工等であります。国内子会社がいがり産業株式会社、海外子会社IGARI INDUSTRY(THAILAND)CO.,LTD.が製造・販売をしております。

3. その他

連続ねじ締め機及びねじ連綴体……当社及び海外子会社ムロ ノース アメリカ インクが製造・販売をしております。

柑橘類皮むき機……………当社が製造・販売をしております。



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当連結会計年度 (2022年3月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,845,484 | 6,614,427 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,930,769 | 3,163,203 |
| 電子記録債権 | 1,715,077 | 1,881,926 |
| 有価証券 | 230,476 | 335,504 |
| 商品及び製品 | 660,025 | 920,224 |
| 仕掛品 | 394,039 | 435,341 |
| 原材料及び貯蔵品 | 355,607 | 510,102 |
| その他 | 478,801 | 513,974 |
| 貸倒引当金 | — | △1,150 |
| 流動資産合計 | 14,610,282 | 14,373,554 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 7,933,725 | 8,370,816 |
| 減価償却累計額 | △4,378,838 | △4,677,109 |
| 建物及び構築物 (純額) | 3,554,887 | 3,693,706 |
| 機械装置及び運搬具 | 13,571,864 | 14,855,289 |
| 減価償却累計額 | △11,096,615 | △11,860,864 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | 2,475,248 | 2,994,424 |
| 土地 | 1,466,512 | 1,518,158 |
| 建設仮勘定 | 458,382 | 583,468 |
| その他 | 6,079,912 | 6,281,380 |
| 減価償却累計額 | △5,588,297 | △5,787,119 |
| その他 (純額) | 491,614 | 494,261 |
| 有形固定資産合計 | 8,446,645 | 9,284,018 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 75,314 | 50,209 |
| その他 | 269,977 | 277,431 |
| 無形固定資産合計 | 345,291 | 327,641 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,098,448 | 2,151,447 |
| 長期貸付金 | 64,007 | 35,175 |
| 繰延税金資産 | 53,090 | 102,990 |
| 退職給付に係る資産 | 110,323 | 128,517 |
| その他 | 1,029,497 | 960,232 |
| 貸倒引当金 | △4,280 | △4,280 |
| 投資その他の資産合計 | 3,351,087 | 3,374,082 |
| 固定資産合計 | 12,143,023 | 12,985,742 |
| 資産合計 | 26,753,306 | 27,359,297 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当連結会計年度 (2022年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,076,573 | 1,363,622 |
| 電子記録債務 | 2,479,204 | 2,586,993 |
| 短期借入金 | 2,450,000 | 960,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 10,000 | 10,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 71,912 | 90,318 |
| 未払金 | 769,487 | 557,762 |
| 未払法人税等 | 345,758 | 431,614 |
| 賞与引当金 | 622,245 | 606,677 |
| 役員賞与引当金 | 26,090 | 45,440 |
| その他 | 745,453 | 718,315 |
| 流動負債合計 | 8,596,724 | 7,370,744 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 10,000 | — |
| 長期借入金 | 100,849 | 414,165 |
| 繰延税金負債 | 149 | 15,620 |
| 役員退職慰労引当金 | 21,131 | 23,433 |
| その他 | 228,593 | 221,602 |
| 固定負債合計 | 360,724 | 674,822 |
| 負債合計 | 8,957,449 | 8,045,566 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,095,260 | 1,095,260 |
| 資本剰余金 | 904,125 | 904,125 |
| 利益剰余金 | 15,871,569 | 16,995,904 |
| 自己株式 | △395,383 | △395,383 |
| 株主資本合計 | 17,475,572 | 18,599,907 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 464,363 | 485,194 |
| 為替換算調整勘定 | △281,769 | 125,864 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 137,690 | 102,764 |
| その他の包括利益累計額合計 | 320,284 | 713,823 |
| 純資産合計 | 17,795,857 | 19,313,731 |
| 負債純資産合計 | 26,753,306 | 27,359,297 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 18,965,187 | 20,533,642 |
| 売上原価 | 15,553,138 | 16,521,529 |
| 売上総利益 | 3,412,049 | 4,012,113 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 保管費 | 95,055 | 98,271 |
| 運搬費 | 361,031 | 390,589 |
| 給料及び賞与 | 797,864 | 901,881 |
| 賞与引当金繰入額 | 111,223 | 99,837 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 26,090 | 45,844 |
| 退職給付費用 | 30,505 | 11,834 |
| 減価償却費 | 48,410 | 89,662 |
| 貸倒引当金繰入額 | 177 | — |
| のれん償却額 | 25,104 | 25,104 |
| その他 | 918,938 | 1,089,468 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 2,414,401 | 2,752,493 |
| 営業利益 | 997,647 | 1,259,619 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 43,322 | 21,894 |
| 受取配当金 | 21,628 | 28,549 |
| 為替差益 | 60,096 | 404,649 |
| 太陽光売電収入 | 12,286 | 12,904 |
| 補助金収入 | 227,670 | 120,771 |
| その他 | 253,063 | 138,552 |
| 営業外収益合計 | 618,068 | 727,321 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 17,290 | 11,669 |
| 減価償却費 | 4,800 | 4,234 |
| その他 | 4,238 | 7,891 |
| 営業外費用合計 | 26,329 | 23,794 |
| 経常利益 | 1,589,386 | 1,963,147 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,279 | 1,997 |
| 投資有価証券売却益 | — | 14 |
| 段階取得に係る差益 | — | 7,350 |
| 負ののれん発生益 | — | 37,803 |
| 特別利益合計 | 1,279 | 47,166 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 379 | — |
| 固定資産除却損 | 1,042 | 7,626 |
| 有価証券償還損 | 2,745 | — |
| 特別損失合計 | 4,167 | 7,626 |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,586,498 | 2,002,686 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 505,599 | 658,560 |
| 過年度法人税等 | 66,743 | — |
| 法人税等調整額 | 39,454 | △3,734 |
| 法人税等合計 | 611,798 | 654,825 |
| 当期純利益 | 974,700 | 1,347,860 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 974,700 | 1,347,860 |

連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 974,700 | 1,347,860 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 214,457 | 20,831 |
| 為替換算調整勘定 | △154,330 | 407,633 |
| 退職給付に係る調整額 | 281,234 | △34,926 |
| その他の包括利益合計 | 341,360 | 393,538 |
| 包括利益 | 1,316,061 | 1,741,399 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 1,316,061 | 1,741,399 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|---------|------------|----------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,095,260 | 904,125 | 15,162,724 | △395,351 | 16,766,759 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △265,855 | | △265,855 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 974,700 | | 974,700 |
| 自己株式の取得 | | | | △31 | △31 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 708,845 | △31 | 708,813 |
| 当期末残高 | 1,095,260 | 904,125 | 15,871,569 | △395,383 | 17,475,572 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|--------------|---------------|------------|
| | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 249,905 | △127,438 | △143,543 | △21,076 | 16,745,683 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △265,855 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 974,700 |
| 自己株式の取得 | | | | | △31 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 214,457 | △154,330 | 281,234 | 341,360 | 341,360 |
| 当期変動額合計 | 214,457 | △154,330 | 281,234 | 341,360 | 1,050,174 |
| 当期末残高 | 464,363 | △281,769 | 137,690 | 320,284 | 17,795,857 |

当連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|---------|------------|----------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,095,260 | 904,125 | 15,871,569 | △395,383 | 17,475,572 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | 42,328 | | 42,328 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 1,095,260 | 904,125 | 15,913,898 | △395,383 | 17,517,901 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △265,854 | | △265,854 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,347,860 | | 1,347,860 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 1,082,006 | — | 1,082,006 |
| 当期末残高 | 1,095,260 | 904,125 | 16,995,904 | △395,383 | 18,599,907 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|--------------|---------------|------------|
| | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 464,363 | △281,769 | 137,690 | 320,284 | 17,795,857 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | 42,328 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 464,363 | △281,769 | 137,690 | 320,284 | 17,838,185 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △265,854 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 1,347,860 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 20,831 | 407,633 | △34,926 | 393,538 | 393,538 |
| 当期変動額合計 | 20,831 | 407,633 | △34,926 | 393,538 | 1,475,545 |
| 当期末残高 | 485,194 | 125,864 | 102,764 | 713,823 | 19,313,731 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,586,498 | 2,002,686 |
| 減価償却費 | 1,266,719 | 1,334,242 |
| のれん償却額 | 25,104 | 25,104 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | — | 1,150 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 7,179 | △15,567 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △21,680 | 19,350 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | △740 | 2,302 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △266,655 | — |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | △110,323 | △18,194 |
| 受取利息及び受取配当金 | △64,951 | △50,444 |
| 支払利息 | 17,290 | 11,669 |
| 為替差損益 (△は益) | △59,500 | △333,428 |
| 補助金収入 | △227,670 | △120,771 |
| 段階取得に係る差損益 (△は益) | — | △7,350 |
| 負ののれん発生益 | — | △37,803 |
| 固定資産除却損 | 1,042 | 7,626 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | 379 | — |
| 固定資産売却益 | △1,279 | △1,997 |
| 有価証券償還損益 (△は益) | 2,745 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △200,112 | △313,810 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 49,377 | △369,102 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 347,136 | 336,935 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 220,389 | △296,801 |
| 未払又は未収消費税等の増減額 | 92,037 | △79,992 |
| その他 | 214,835 | 36,209 |
| 小計 | 2,877,824 | 2,132,011 |
| 利息及び配当金の受取額 | 68,381 | 50,684 |
| 利息の支払額 | △19,351 | △9,363 |
| 補助金の受取額 | 227,670 | 120,771 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △374,343 | △556,714 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,780,180 | 1,737,390 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △425,497 | △27,433 |
| 定期預金の払戻による収入 | 462,189 | 535,945 |
| 有価証券の取得による支出 | △1,934 | △327,101 |
| 有価証券の償還による収入 | 523,915 | 335,043 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | 1,162 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,060,986 | △1,806,056 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 20,578 | 79,622 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △140,063 | △23,270 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △12,155 | △124,675 |
| 貸付けによる支出 | △524 | — |
| 貸付金の回収による収入 | 1,851 | 318 |
| 保険積立金の積立による支出 | △47,641 | △46,502 |
| 保険積立金の払戻による収入 | 8,882 | 73,322 |
| その他の支出 | △74,038 | △10,861 |
| その他の収入 | 539 | 3,567 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,744,884 | △1,336,919 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 1,814,643 | △1,490,000 |
| 長期借入れによる収入 | 160,000 | 471,227 |
| 長期借入金の返済による支出 | △236,757 | △186,966 |
| 短期社債の償還による支出 | △110,000 | △10,000 |
| 配当金の支払額 | △265,012 | △266,091 |
| 自己株式の取得による支出 | △31 | — |
| リース債務の返済による支出 | △73,803 | △63,481 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,289,038 | △1,545,311 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △27,066 | 344,652 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 2,297,269 | △800,188 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,741,639 | 7,038,908 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 7,038,908 | 6,238,719 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

1. 連結の範囲の重要な変更

特定子会社には該当していませんが、2021年6月4日付けで3MT(THAILAND)CO., LTD. の株式を追加取得したことに伴い、当連結会計年度より同社を連結の範囲に含めております。同社の決算日は12月31日であります。

2. 持分法適用の範囲の重要な変更

当連結会計年度において、持分法適用の範囲に重要な変更はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2018年3月30日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日)当連結会計年度の期首から収益認識会計基準等を適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。これにより、従来、金型売上の一部について一定期間で収益認識しておりましたが、一時点の収益認識としております。また、従来、売上原価として計上していた一部の費用について、当連結会計年度より顧客へ支払われる対価として、売上高から減額しております。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は621,292千円減少し、売上原価は638,014千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ16,722千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は42,328千円増加しております。

なお、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る「収益認識関係」注記については記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(企業結合等関係)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 3MT(THAILAND)CO., LTD.

事業の内容 金属関連部品販売業

(2) 企業結合を行った主な理由

東南アジアにおける会社製品の販売拠点として、IGARI INDUSTRY(THAILAND)CO., LTD. 社との相乗効果による受注増をはじめとした経営の合理化を図るため。

(3) 企業結合日

2021年6月4日(株式取得日)

2021年6月30日(みなし取得日)

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

①企業結合直前に所有していた議決権比率 25.0%

②相対取引により追加取得した議決権比率 75.0%

③取得後の議決権比率 100.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 当連結会計年度に係る連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2021年7月1日から2021年12月31日までの業績を含めております。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

| | | | |
|-------|----|--------|----|
| 取得の対価 | 現金 | 54,451 | 千円 |
| 取得原価 | | 54,451 | 千円 |

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生した負ののれん金額

37,803千円

(2) 発生原因

企業結合時の時価純資産が取得原価を上回ったため、その差額を負ののれん発生益として認識しています。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

| | | |
|------|---------|----|
| 流動資産 | 186,561 | 千円 |
| 固定資産 | 827 | 千円 |
| 資産合計 | 187,388 | 千円 |
| 流動負債 | 76,982 | 千円 |
| 固定負債 | — | 千円 |
| 負債合計 | 76,982 | 千円 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、自動車用部品及び産業用機械部品等の製造販売を主な事業内容としており、これら取り扱う製品ごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従いまして、当社グループが基礎とするセグメントは製品別で構成されており、販売金額の大半を占める「金属関連部品事業」「樹脂関連部品事業」を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

「会計方針の変更」に記載のとおり、当連結会計年度に係る連結財務諸表から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当連結会計年度の「金属関連部品事業」の売上高は621,292千円減少し、セグメント利益は16,722千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 連結 財務諸表 計上額 (注3) |
|---|--------------|--------------|------------|-------------|------------|-------------|---------------------------|
| | 金属関連部品 事業 | 樹脂関連部品 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客 への売上 高 | 16,701,040 | 1,444,254 | 18,145,294 | 819,893 | 18,965,187 | — | 18,965,187 |
| セグメント 間の内部 売上高 又は振替 高 | — | 6,817 | 6,817 | — | 6,817 | △6,817 | — |
| 計 | 16,701,040 | 1,451,071 | 18,152,112 | 819,893 | 18,972,005 | △6,817 | 18,965,187 |
| セグメント 利益又はセ グメント損 失(△) | 1,651,381 | △69,231 | 1,582,150 | 104,407 | 1,686,557 | △688,910 | 997,647 |
| セグメント 資産 | 20,575,632 | 1,494,767 | 22,070,400 | 811,268 | 22,881,669 | 3,871,637 | 26,753,306 |
| その他の項 目 | | | | | | | |
| 減価償却 費 | 1,141,027 | 90,768 | 1,231,795 | 10,156 | 1,241,951 | 24,768 | 1,266,719 |
| 減損損失 | — | — | — | — | — | — | — |
| 有形固定 資産、無 形固定資 産 及び長期 前払費用 の増加額 | 1,880,650 | 97,086 | 1,977,736 | 2,783 | 1,980,519 | 26,846 | 2,007,366 |

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 連結 財務諸表 計上額 (注3) |
|---|--------------|--------------|------------|-------------|------------|-------------|---------------------------|
| | 金属関連部品 事業 | 樹脂関連部品 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客 への売上 高 | 17,938,721 | 1,688,953 | 19,627,675 | 905,967 | 20,533,642 | — | 20,533,642 |
| セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高 | — | 18,085 | 18,085 | — | 18,085 | △18,085 | — |
| 計 | 17,938,721 | 1,707,038 | 19,645,760 | 905,967 | 20,551,727 | △18,085 | 20,533,642 |
| セグメント 利益又はセ グメント損 失(△) | 1,879,283 | △9,124 | 1,870,158 | 119,524 | 1,989,682 | △730,063 | 1,259,619 |
| セグメント 資産 | 20,976,463 | 1,419,651 | 22,396,115 | 868,869 | 23,264,984 | 4,094,312 | 27,359,297 |
| その他の項 目 | | | | | | | |
| 減価償却 費 | 1,206,548 | 94,372 | 1,300,921 | 8,279 | 1,309,200 | 25,042 | 1,334,242 |
| 減損損失 | — | — | — | — | — | — | — |
| 有形固定 資産、無 形固定資 産 及び長期 前払費用 の増加額 | 1,802,727 | 74,990 | 1,877,718 | 2,199 | 1,879,918 | 20,937 | 1,900,855 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失(△)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|---------------------|----------|----------|
| セグメント間の内部売上高又は振替高※1 | △6,817 | △18,085 |
| 全社費用※2 | △682,092 | △711,977 |
| 合計 | △688,910 | △730,063 |

※1 セグメント間の内部売上高又は振替高は、主にセグメント間取引消去であります。

※2 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|-------|-----------|-----------|
| 全社資産※ | 3,871,637 | 4,094,312 |

※ 全社資産は主に当社での余資運用資金(現金及び預金)、投資資金(有価証券及び投資有価証券)、繰延税金資産及び管理部門に係る資産等であります。

(3) その他の項目

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|-----------------------------|---------|---------|
| 減価償却費※1 | 24,768 | 25,042 |
| 有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用の増加額※2 | 26,846 | 20,937 |

※1 減価償却費は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※2 有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用の増加額は主に当社の管理部門に係る資産であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

| 日本 | 北米 | 欧州 | 東南アジア | その他 | 合計 |
|------------|-----------|---------|---------|--------|------------|
| 16,411,475 | 1,741,159 | 121,598 | 625,173 | 65,780 | 18,965,187 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

| 日本 | 米国 | カナダ | 中国 | 東南アジア | 合計 |
|-----------|---------|---------|-----------|---------|-----------|
| 5,082,579 | 876,514 | 181,137 | 1,360,721 | 945,692 | 8,446,645 |

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|------------|-----------|------------|
| トヨタ自動車株式会社 | 2,698,751 | 金属関連部品事業 |
| 本田技研工業株式会社 | 2,313,776 | 金属関連部品事業 |

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

| 日本 | 北米 | 欧州 | 東南アジア | その他 | 合計 |
|------------|-----------|---------|---------|--------|------------|
| 17,399,877 | 2,014,170 | 158,538 | 869,487 | 91,569 | 20,533,642 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

| 日本 | 米国 | カナダ | 中国 | 東南アジア | 合計 |
|-----------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|
| 5,065,577 | 884,632 | 195,680 | 1,748,427 | 1,389,701 | 9,284,018 |

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|------------|-----------|------------|
| トヨタ自動車株式会社 | 2,672,835 | 金属関連部品事業 |
| 株式会社アイシン | 2,156,291 | 金属関連部品事業 |

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、2022年3月期に係る売上高については、当該会計基準を適用した後の数値となっております。そのため、本田技研工業株式会社の売上高が連結損益計算書の売上高の10%以下となったことにより主要な顧客ごとの情報の記載から外れることとなりました。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 | 合計 | 調整額 | 連結 財務諸表 計上額 |
|-------|--------------|--------------|--------|-----|--------|-----|-------------------|
| | 金属関連部品 事業 | 樹脂関連部品 事業 | 計 | | | | |
| 当期償却額 | — | 25,104 | 25,104 | — | 25,104 | — | 25,104 |
| 当期末残高 | — | 75,314 | 75,314 | — | 75,314 | — | 75,314 |

当連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 | 合計 | 調整額 | 連結 財務諸表 計上額 |
|-------|--------------|--------------|--------|-----|--------|-----|-------------------|
| | 金属関連部品 事業 | 樹脂関連部品 事業 | 計 | | | | |
| 当期償却額 | — | 25,104 | 25,104 | — | 25,104 | — | 25,104 |
| 当期末残高 | — | 50,209 | 50,209 | — | 50,209 | — | 50,209 |

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

(重要な負ののれん発生益)

「金属関連部品事業」セグメントにおいて、3MT(THAILAND)CO., LTD.の株式を追加取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を認識しております。

当該事象による負ののれん発生益の計上は、37,803千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(収益認識関係)

当社グループは主として自動車メーカー向けの部品供給事業を中心に事業活動を行っております。売上高を顧客の所在地を基礎とした地域に分類しております。

分解した地域別の売上高と報告セグメントとの関係は以下のとおりです。

当連結会計年度（自 2021年4月1日至 2022年3月31日）

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------|--------------|--------------|------------|------------|------------|
| | 金属関連部品 事業 | 樹脂関連部品 事業 | 計 | | |
| 日本 | 15,624,797 | 1,582,544 | 17,207,342 | 192,534 | 17,399,877 |
| 北米 | 1,545,268 | — | 1,545,268 | 468,902 | 2,014,170 |
| 東南アジア | 763,077 | 106,409 | 869,487 | — | 869,487 |
| その他 | 5,577 | — | 5,577 | 244,529 | 250,107 |
| 外部顧客への売上高 | 17,938,721 | 1,688,953 | 19,627,675 | 905,967 | 20,533,642 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 2,945円29銭 | 3,196円50銭 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 161円31銭 | 223円07銭 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|--------------------------------|--|--|
| 1株当たり当期純利益金額 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 974,700 | 1,347,860 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円) | 974,700 | 1,347,860 |
| 期中平均株式数(株) | 6,042,155 | 6,042,138 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。